

# 四 半 期 報 告 書

(金融商品取引法第24条の4の7第1項に基づく報告書)

(第67期) 自 2018年4月1日  
第1四半期 至 2018年6月30日

電源開発株式会社

(E04510)

# 目 次

## 第67期 第1四半期報告書

【表紙】 .....	1
第一部	
【企業情報】 .....	2
第1【企業の概況】 .....	2
1【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2【事業の内容】 .....	3
第2【事業の状況】 .....	4
1【事業等のリスク】 .....	4
2【経営者による財政状態及び経営成績の状況の分析】 .....	4
3【経営上の重要な契約等】 .....	5
第3【提出会社の状況】 .....	6
1【株式等の状況】 .....	6
2【役員の状況】 .....	7
第4【経理の状況】 .....	8
1【四半期連結財務諸表】 .....	9
2【その他】 .....	18
第二部	
【提出会社の保証会社等の情報】 .....	19
独立監査人の四半期レビュー報告書 .....	20

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2018年8月1日

【四半期会計期間】 第67期第1四半期(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

【会社名】 電源開発株式会社

【英訳名】 Electric Power Development Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 渡 部 肇 史

【本店の所在の場所】 東京都中央区銀座六丁目15番1号

【電話番号】 03(3546)2211番(代表)

【事務連絡者氏名】 財務部決算室長  
萩 原 宏 威

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区銀座六丁目15番1号

【電話番号】 03(3546)2211番(代表)

【事務連絡者氏名】 財務部決算室長  
萩 原 宏 威

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第1四半期 連結累計期間	第67期 第1四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 2017年4月1日 至 2017年6月30日	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2017年4月1日 至 2018年3月31日
売上高(営業収益) (百万円)	189,722	197,591	856,252
経常利益 (百万円)	28,471	35,739	102,476
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	19,237	25,183	68,448
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	22,792	22,763	92,297
純資産額 (百万円)	780,408	851,546	836,124
総資産額 (百万円)	2,606,366	2,629,832	2,647,054
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	105.10	137.58	373.93
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	28.2	30.3	29.7

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高(営業収益)には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、新株予約権付社債等潜在株式がないため、記載しておりません。

4 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

## 2 【事業の内容】

当社グループは、当社、子会社72社及び関連会社107社（2018年6月30日現在）によって構成されており、主に、水力、火力、風力など当社又は関係会社で保有する発電所による発電事業を行っているほか、送電事業として当社で保有する送・変電設備により、沖縄電力㈱を除く一般送配電事業者9社の電力託送を行っております。

当社グループの事業の内容としては、当社及び関係会社が行う「電気事業」、電気事業を補完し電気事業の円滑かつ効率的な遂行に資する「電力周辺関連事業」、海外における発電事業及びその関連事業を行う「海外事業」並びに当社グループの保有する経営資源、ノウハウを活用して行う石炭販売事業等の「その他の事業」があります。

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業の内容に重要な変更はありません。

また、当第1四半期連結累計期間における、主要な関係会社の異動等は次のとおりです。

### [電気事業]

当第1四半期連結会計期間より、2018年4月に設立した㈱ジェイウインド上ノ国を新たに連結の範囲に含めております。また、2018年4月に連結子会社の㈱ジェイウインドは、連結子会社であった由利本荘風力発電㈱を吸収合併しました。

当第1四半期連結会計期間より、2018年6月に権益取得した安比地熱㈱を新たに持分法適用の範囲に含めております。また、㈱ジェネックスは、2018年5月に全保有株式を売却したことにより、持分法適用の範囲から除外しております。

### [電力周辺関連事業]

主要な関係会社の異動はありません。

### [海外事業]

主要な関係会社の異動はありません。

### [その他の事業]

主要な関係会社の異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、事業等のリスクの重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態及び経営成績の状況の分析】

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間の収入面は、電気事業の燃料価格の上昇等により、売上高（営業収益）は、前第1四半期連結累計期間に対し4.1%増加の1,975億円となり、これに営業外収益を加えた四半期経常収益は、前第1四半期連結累計期間に対し5.7%増加の2,096億円となりました。

一方、費用面は、火力発電所の定期点検等修繕費の減少はあったものの、燃料価格の上昇による燃料費の増加等により、営業費用は前第1四半期連結累計期間に対し2.6%増加の1,664億円となり、これに営業外費用を加えた四半期経常費用は、前第1四半期連結累計期間に対し2.4%増加の1,739億円となりました。

この結果、経常利益は前第1四半期連結累計期間に対し25.5%増加の357億円となり、法人税等を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間に対し30.9%増加の251億円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### （電気事業）

電気事業の販売電力量は、水力は出水率が前第1四半期連結累計期間を上回った（94%→105%）こと等により、前第1四半期連結累計期間に対し16.8%増加の28億kWhとなりました。火力についても、発電所利用率が前第1四半期連結累計期間を上回った（当社個別：61%→63%）こと等により、前第1四半期連結累計期間に対し2.1%増加の112億kWhとなり、電気事業全体では、前第1四半期連結累計期間に対し4.8%増加の143億kWhとなりました。

売上高（電気事業営業収益）は、燃料価格の上昇等により、前第1四半期連結累計期間に対し4.8%増加の1,458億円となりました。

セグメント利益は、火力発電所の定期点検等修繕費の減少等により、前第1四半期連結累計期間に対し36.9%増加の185億円となりました。

#### （電力周辺関連事業）

売上高（その他事業営業収益）は、連結子会社の定期点検工事の収入の減少等により、前第1四半期連結累計期間に対し5.9%減少の822億円となりました。

セグメント利益は、前第1四半期連結累計期間に対し3.0%減少の39億円となりました。

#### （海外事業）

海外事業の販売電力量は、前第1四半期連結累計期間に対し13.1%減少の33億kWhとなりました。

売上高（海外事業営業収益）は、販売電力量の減少等により、前第1四半期連結累計期間に対し1.4%減少の367億円となりました。

セグメント利益は、定期点検等修繕費の減少や持分法投資利益の増加等により、前第1四半期連結累計期間に対し16.1%増加の125億円となりました。

#### （その他の事業）

売上高（その他事業営業収益）は、前第1四半期連結累計期間に対し49.2%増加の74億円となりました。

セグメント利益は、前第1四半期連結累計期間に対し11.5%増加の4億円となりました。

資産については、固定資産の減少等により、前連結会計年度末から172億円減少し2兆6,298億円となりました。

一方、負債については、前連結会計年度末から326億円減少し1兆7,782億円となりました。このうち、有利子負債額は前連結会計年度末から29億円減少し1兆5,584億円となりました。なお、有利子負債額のうち2,658億円は海外事業のノンリコースローン（責任財産限定特約付借入金）です。

また、純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末から154億円増加し8,515億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の29.7%から30.3%となりました。

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、対処すべき課題について重要な変更はありません。

なお、当社取締役会は、会社法施行規則第118条第3号に規定する「当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針」を、以下のとおり決議しております。

「当社は、国内の電力供給の増加を目的として1952年に設立されて以来、半世紀にわたり低廉かつ安定した電力を供給するとともに、全国規模での基幹送電線の建設及び運用を行い、わが国の経済発展と国民生活の向上に寄与してまいりました。

この間、当社は、人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献することを企業理念として掲げるとともに、エネルギーと環境の共生を事業の基調とし魅力ある安定成長企業を目指し、企業価値向上のため不断の取り組みを継続しております。

当社の事業の特徴は、発電所等の公共性の高い設備に投資し、長期間の操業を通じてこれを回収することにあります。当社は、こうした長期の事業運営のなかで、多くのステークホルダーと協調し、安定的に成長していくことにより、当社の企業価値の最大化が図られていると考えております。

当社は、このような当事業の特性を株主の皆様にご理解いただくことを期待しておりますが、また一方、当社株式の売買が株主の皆様ご自身の意思に基づき自由に行われるべきことも当然であります。

しかしながら、経営支配権の取得を目指す当社株式の大規模な買付けにつきましては、当社の取締役は、株主の皆様の負託を受けた立場から、株主共同の利益ひいては当社の企業価値に照らして、これを慎重に検討し、対処すべきであると考えております。

従いまして、株主の皆様及び取締役にとって検討のための情報や時間が不足している場合、または、検討の結果、株主共同の利益ひいては当社の企業価値を著しく毀損するおそれがある場合には、会社法をはじめとする関係法令等の許容する範囲で適切な措置を講じる方針であります。」

## (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発費の総額は、35億円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	660,000,000
計	660,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2018年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2018年8月1日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	183,051,100	183,051,100	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は 100株
計	183,051,100	183,051,100	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### ① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2018年4月1日～ 2018年6月30日	—	183,051	—	180,502	—	109,904

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2018年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,700	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 182,639,500	1,826,395	—
単元未満株式	普通株式 409,900	—	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	183,051,100	—	—
総株主の議決権	—	1,826,395	—

(注) 1 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式が51株及び証券保管振替機構名義の株式が80株含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2018年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

② 【自己株式等】

2018年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 電源開発株式会社	東京都中央区銀座 6-15-1	1,700	—	1,700	0.00
計	—	1,700	—	1,700	0.00

(注) 当第1四半期会計期間末の自己株式数は1,771株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠し、「電気事業会計規則」(昭和40年通商産業省令第57号)に準じて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2018年4月1日から2018年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、従来、当社が監査証明を受けている新日本有限責任監査法人は、2018年7月1日をもってEY新日本有限責任監査法人に名称変更しております。

# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
固定資産	2,325,256	2,295,851
電気事業固定資産	951,149	947,547
水力発電設備	346,719	351,351
汽力発電設備	305,191	299,944
内燃力発電設備	3,029	2,976
新エネルギー等発電設備	50,784	49,105
送電設備	153,180	152,929
変電設備	29,718	29,383
通信設備	8,375	8,087
業務設備	54,148	53,768
海外事業固定資産	341,418	333,023
その他の固定資産	93,404	88,144
固定資産仮勘定	525,740	530,109
建設仮勘定及び除却仮勘定	525,740	530,109
核燃料	73,800	74,324
加工中等核燃料	73,800	74,324
投資その他の資産	339,743	322,701
長期投資	256,715	245,842
退職給付に係る資産	—	74
繰延税金資産	47,744	43,525
その他	35,283	33,260
流動資産	321,798	333,980
現金及び預金	129,675	135,344
受取手形及び売掛金	91,432	87,588
短期投資	9,045	3,065
たな卸資産	52,368	55,357
その他	39,322	52,693
貸倒引当金(貸方)	△46	△67
資産合計	2,647,054	2,629,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
固定負債	1,561,828	1,551,518
社債	554,991	564,992
長期借入金	875,043	859,989
リース債務	368	375
その他の引当金	※1 152	※1 141
退職給付に係る負債	55,176	54,239
資産除去債務	28,484	28,988
繰延税金負債	22,343	21,814
その他	25,266	20,976
流動負債	249,100	226,766
1年以内に期限到来の固定負債	114,307	116,392
短期借入金	16,803	16,841
支払手形及び買掛金	25,539	20,988
未払税金	26,303	15,097
その他の引当金	※1 292	※1 199
資産除去債務	341	316
その他	65,512	56,931
負債合計	1,810,929	1,778,285
<b>純資産の部</b>		
株主資本	745,176	763,038
資本金	180,502	180,502
資本剰余金	119,927	119,927
利益剰余金	444,753	462,614
自己株式	△6	△6
その他の包括利益累計額	42,114	34,657
その他有価証券評価差額金	16,822	15,035
繰延ヘッジ損益	△6,580	1,353
為替換算調整勘定	30,960	17,224
退職給付に係る調整累計額	912	1,043
非支配株主持分	48,833	53,851
純資産合計	836,124	851,546
負債純資産合計	2,647,054	2,629,832

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
営業収益	189,722	197,591
電気事業営業収益	138,822	145,457
海外事業営業収益	37,291	36,786
その他事業営業収益	13,608	15,346
営業費用	162,122	166,412
電気事業営業費用	※ 119,354	※ 123,997
海外事業営業費用	30,184	29,098
その他事業営業費用	12,583	13,317
営業利益	27,599	31,178
営業外収益	8,665	12,062
受取配当金	953	1,057
受取利息	271	297
持分法による投資利益	1,645	2,185
為替差益	4,915	5,419
その他	880	3,103
営業外費用	7,793	7,502
支払利息	7,154	6,435
その他	638	1,066
四半期経常収益合計	198,387	209,654
四半期経常費用合計	169,915	173,914
経常利益	28,471	35,739
税金等調整前四半期純利益	28,471	35,739
法人税、住民税及び事業税	2,906	2,942
法人税等調整額	2,426	3,265
法人税等合計	5,332	6,208
四半期純利益	23,139	29,530
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,902	4,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,237	25,183

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	23,139	29,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,325	△1,787
繰延ヘッジ損益	△1,322	6,683
為替換算調整勘定	1,091	△9,754
退職給付に係る調整額	14	129
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,455	△2,038
その他の包括利益合計	△347	△6,766
四半期包括利益	22,792	22,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,648	17,726
非支配株主に係る四半期包括利益	4,143	5,037

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 当第1四半期連結会計期間より、2018年4月に設立した(株)ジェイウインド上ノ国を新たに連結の範囲に含めております。また、2018年4月に連結子会社の(株)ジェイウインドは、連結子会社であった由利本荘風力発電(株)を吸収合併しました。
(持分法適用の範囲の重要な変更) 当第1四半期連結会計期間より、2018年6月に権益取得した安比地熱(株)を新たに持分法適用の範囲に含めております。また、(株)ジェネックスは、2018年5月に全保有株式を売却したことにより、持分法適用の範囲から除外しております。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 引当金の内訳

前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
子会社が計上している役員賞与引当金等をその他の引当金に計上しております。	子会社が計上している役員賞与引当金等をその他の引当金に計上しております。

2 偶発債務

(1)保証債務

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
イ 以下の会社の金融機関からの借入金に対する保証債務		
PT. BHIMASENA POWER INDONESIA	29,512百万円	30,706百万円
Zajaczkowo Windfarm Sp. z o.o. 湯沢地熱(株)	2,854百万円	2,697百万円
SAHARA COOLING Ltd.	895百万円	1,365百万円
	186百万円	193百万円
ロ 従業員の持ち家財形融資等による金融機関からの借入金に対する保証債務	847百万円	809百万円
計	34,296百万円	35,773百万円

(2)以下の会社の金融機関の電力販売契約履行保証状に対する保証

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
PT. BHIMASENA POWER INDONESIA	2,528百万円	2,630百万円

(3)以下の会社の風力発電機購入契約の支払債務に対する保証債務

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
(株)ジェイウインドせたな	8,243百万円	8,243百万円

## (4) 以下の会社の履行保証保険契約への連帯保証に対する保証債務

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
㈱バイオコール熊本南部	18百万円	21百万円

(四半期連結損益計算書関係)

## ※営業費用の内訳

電気事業営業費用の内訳は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	
	電気事業 営業費用	電気事業営業費用 のうち販売費・ 一般管理費	電気事業 営業費用	電気事業営業費用 のうち販売費・ 一般管理費
人件費	7,995	3,771	7,700	3,322
燃料費	47,915	—	55,252	—
修繕費	18,784	293	13,611	240
委託費	8,127	2,707	8,336	3,075
租税公課	6,252	176	6,204	178
減価償却費	13,546	495	13,882	505
研究費	3,352	3,352	3,064	3,064
その他	13,379	1,935	15,943	2,297
合計	119,354	12,732	123,997	12,684

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
減価償却費	19,036百万円	19,493百万円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年6月28日 定時株主総会	普通株式	6,406	35	2017年3月31日	2017年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	7,321	40	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	電気事業	電力周辺 関連事業	海外事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	138,822	9,332	37,291	4,275	189,722	—	189,722
セグメント間の内部売上高 又は振替高	412	78,084	—	689	79,187	△79,187	—
計	139,234	87,417	37,291	4,965	268,909	△79,187	189,722
セグメント利益	13,539	4,044	10,771	422	28,778	△306	28,471

(注) 1 セグメント利益の調整額△306百万円には、セグメント間取引消去△317百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	電気事業	電力周辺 関連事業	海外事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	145,457	8,808	36,786	6,538	197,591	—	197,591
セグメント間の内部売上高 又は振替高	433	73,468	—	868	74,770	△74,770	—
計	145,890	82,277	36,786	7,406	272,361	△74,770	197,591
セグメント利益	18,531	3,922	12,508	471	35,434	305	35,739

(注) 1 セグメント利益の調整額305百万円には、セグメント間取引消去298百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2017年 4 月 1 日 至 2017年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 6 月 30 日)
1 株当たり四半期純利益	105円10銭	137円58銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	19,237	25,183
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	19,237	25,183
普通株式の期中平均株式数 (千株)	183,049	183,049

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益は、新株予約権付社債等潜在株式がないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

(重要な訴訟事件等)

当社に対して大間原子力発電所の建設及び運転の差止め等を請求する訴訟が、2010年7月28日に函館地方裁判所に提起され、2018年3月19日に原告の請求を棄却する判決が言い渡されました。原告は同判決を不服として2018年3月28日に控訴し、現在札幌高等裁判所において係争中です。また、同じく大間原子力発電所の建設及び運転の差止め等を請求する訴訟が、2014年4月3日に東京地方裁判所に提起され、現在も係争中です。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年7月31日

電源開発株式会社  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	白 羽 龍 三 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高 橋 幸 毅 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋 藤 克 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている電源開発株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2018年4月1日から2018年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、電源開発株式会社及び連結子会社の2018年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2018年8月1日
【会社名】	電源開発株式会社
【英訳名】	Electric Power Development Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 渡 部 肇 史
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都中央区銀座六丁目15番1号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長渡部肇史は、当社の第67期第1四半期（自2018年4月1日至2018年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

## 2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。